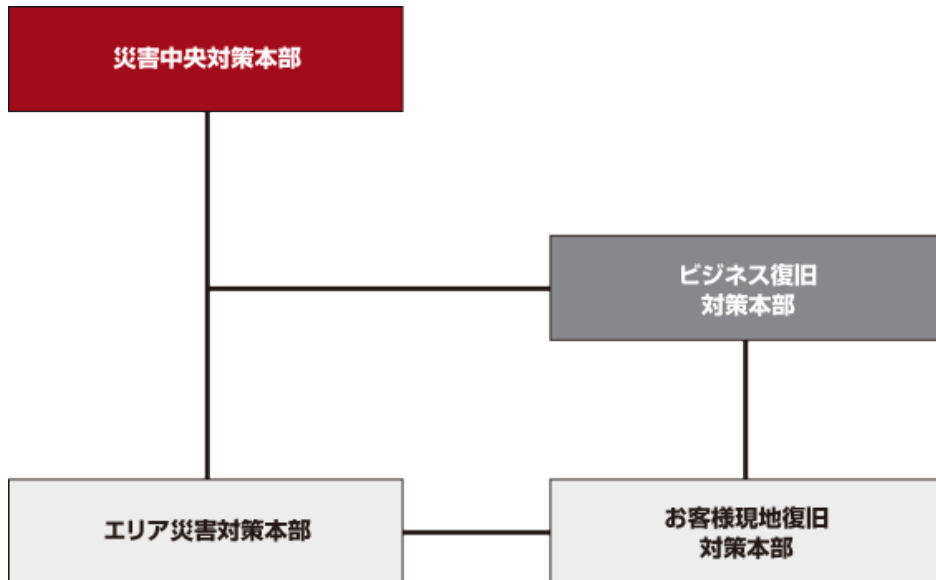


全社防災

全社防災体制



富士通国内グループ合同防災訓練

年1回、災害模擬演習を取り入れた全国の事業所を対象に防災訓練を実施しています。この訓練は、発生確率が高く甚大な被害が予想される巨大地震などを想定することで、お客様および当社グループへの影響と対応を検証することを目的としており、全社防災組織を編成し、富士通および国内グループ会社が連携して「首都直下地震」や「南海トラフ巨大地震」など、想定される大規模災害に対処するための要領の習熟とその検証を行います。

実際の訓練では、被災した事業所を含む各事業所と連携して初動対応や事業継続対応の要領、またお客様のICTシステムの復旧支援対応を確認します。同時に、全国の事業所では災害発生直後の現地災害対策本部の初動対応手順（従業員の安否確認、事業所の被害確認など）を検証しています。そして、これらの訓練を通じて抽出された課題を検討し、組織の防災・事業継続能力向上に取り組んでいます。

専門チームによる検証活動の展開

富士通および国内グループ会社の全拠点の中から、リスク発生の可能性や影響度が高い事業所を選定し、検証活動を実施しています。環境マネジメント、リスクマネジメント（防火防災）の社内部署の専門チームが現地に赴き、法令遵守状況の確認、火災や自然災害、建屋設備の老朽化による事故防止のための検証・指導を行います。

また、ファシリティマネジメント（施設リスク）では、検証が必要と判断した場合、状況をヒアリングのうえ、社内部署の専門チームが現地に赴き、検証・指導を行います。

また、防災対策の優秀事例や改善事例の共有を図り、富士通国内グループ全体の安定・安全操業を促進しています。